



やまがた木育プログラム体験会

ブナのストラップづくり

児童クラブまどか 宋沢市



集合写真



ブナの観察



製作指導①



ブナの説明



製作指導②

8月23日(金)、米沢市「児童クラブまどか」で、やまがた木育プログラム体験会「ブナのストラップづくり」を開催しました。やまがた木育人材養成講座スキルアップ修了者である仲山常吉さん、中原凌さんの2名が講師として指導にあたりました。参加者は29名の児童です。

はじめに、中原さんから、「ブナの特徴」や「森林のはたらき」について解説がありました。更に今回は小国町の白い森を例に、置賜地区のブナ林の事についても写真を交えてご説明いただきました。児童たちはブナの葉や実を観察したり、匂いを嗅ぎながら、ブナの特徴について学習を深めました。クマの食料になるブナの実が、人も食べられることに驚いてい

ました。

次に、仲山さんからストラップ製作について説明がありました。仲山さんからストラップの削り方を実演いただいたことで、児童たちは削り方のコツをつかんでいました。今回の活動のふりかえりとしては、①これまでの1回あたりの活動の中で参加者が最も多かった会であったが、スムーズに進んでよかった。②人数が多い場合、タイムキーパーの役割が重要になる。③座学のときは講義型の説明より、参加者との対話型の方が深い理解につながるといった内容が挙げられました。

参加者の年代は1〜6年生と幅広かったです。集中して製作でき、充実した体験会となりました。

作成日
2024年8月27日
やまがた森林と緑の推進機構 緑化推進課

ひとこと

これまでの活動の中でも規模の大きい体験会となった今回は、たくさんの気づきがあった回でした。

多くの参加者の方に学んでいただくにあたり、スムーズな進行が求められました。そのための取り組みとして、対話型の解説やタイムキーパーによる積極的なアナウンス、製作の実演等を行った結果、充実した回になったと感じました。

次回以降も今回の成果を活かしていきたいと思えます。
(担当S)

【参加した方の感想】

- ・しずく型に木の形を紙やすりで丸めることが楽しかった
- ・削るのは大変だけど、完成した時に達成感があった
- ・ブナ林の面積で山形県が日本一だと初めて知った
- ・ブナの木のことを友達にも教えてあげたい
- ・木に木目という模様があることを初めて知った

【スタッフの振り返り】

- ・参加者が多い中、スムーズな進行ができた
- ・対話型の解説やクイズが好評だった。今後も対話型の解説の方がよいと思われる
- ・人数が多い場合、制作の補助に回ることが多かったため、タイムキーパーの声かけが重要
- ・削り方の実演は、分かりやすかった